

瀬戸内海を借景とした松濤園の庭園内には「陶磁器館」、「朝鮮通信使資料館(御馳走一番館)」、「あかりの館」、「蒲刈島御番所」の4棟の建物があります。それぞれ日本各地から移築または復元した日本家屋を展示施設として活用しています。

この度はその一つ、蒲刈島御番所で「春の茶会」を開催いたします。和装・洋装問わずお気軽にお越しください。



※写真は過去開催の様子

松濤園の展示内容 【開催中～4/6(月)】

朝鮮通信使資料館 (御馳走一番館)



《朝鮮通信使行列図巻》(部分)・紙本木版・卷子装

国書 —国交を支えた書簡—

朝鮮通信使は徳川幕府の将軍の代替わりなどの時に、朝鮮国王からの国書を持って来日しました。国書は長い旅の間、丁寧に運ばれました。江戸時代を通じて12回国書が往来し、両国間の平和の構築と維持に大きな役割をはたしました。

本展では、朝鮮通信使の旅の目的である国書に注目し、国交を支えた書簡である国書を紹介いたします。

陶磁器館



《色絵犬置物》
1670-90年代



《色絵梅井文六角壺》
1670-90年代



《色絵梅鳳凰団龍文八角鉢》
1670-90年代

KAKIEMON —ヨーロッパを魅了した伊万里—

伊万里焼は今から400年ほど前に現在の佐賀県有田周辺で誕生し、1670～90年代になると、柿右衛門様式が誕生します。この雪のように白い焼き物は、ヨーロッパの人々を魅了しました。

本展では、柿右衛門様式の作品を中心に伊万里焼の歴史を紹介いたします。また、広島にゆかりのある陶芸作家の今井眞正氏の作品も紹介します。

周辺のご案内 (春の茶会頃)

- ・蘭島閣美術館 開催中～3/16(月) 『比べてみよう!大きい絵と小さい絵』
- ・三之瀬御本陣芸術文化館 開催中～3/9(月) 特別展『写実の世界 写実がみせる深い世界と広島』

アクセス方法

広島市内から 車で約60分

呉市内から国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋(有料)を渡って最初の島が下蒲刈町です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用ください。駐車場から松濤園まで80m。

指定施設にて1,000円以上ご利用の方に安芸灘大橋の帰りの通行券を進呈! 詳しくは、呉市観光案内所 TEL.0823-23-7845 まで。

呉から電車とバス

JR 呉線で広島または仁方駅で下車。駅前最寄りのバス停留所から瀬戸内産交株式会社のバス「豊・豊浜・蒲刈方面行き」乗車。下蒲刈町内「三之瀬」停留所下車。停留所から松濤園まで100m。(バスは上下とも1時間に1本ほど運行しています。)

バスに関するお問い合わせ 瀬戸内産交株式会社 ☎0823-70-7051

